

**ネットアップ、「タグ・ホイヤー ポルシェ フォーミュラ E チーム」とパートナーシップを締結
～データドリブンのクラウドソリューションで
「ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権」での勝利を目指すポルシェ モータースポーツを支援～**

本プレスリリースは、2022年7月13日に米ネットアップが発表したプレスリリースの日本語訳です。



米ネットアップ（本社：米国カリフォルニア州、CEO：ジョージ・クリアン）は、「タグ・ホイヤー ポルシェ フォーミュラ E チーム」とパートナーシップを7月13日（水）に締結しました。米ネットアップは高度なハイブリッドクラウドソリューションを提供し、同チームがカーレースの歴史を刻み続ける挑戦を支援します。

フォルクスワーゲングループの世界的な自動車ブランド「ポルシェ AG」は、販売する全車両の80%を2030年までに電気自動車にすることを目標としており、その取組みの一つとして、2015年から生産を電気自動車またはe-fuel(再生エネルギー由来の水素を用いた合成燃料)車に移行しています。同チームは、ネットアップのリアルタイムデータ連携サービスを活用し、自動車業界における持続可能性のさらなる実現と、レースパフォーマンスの向上を目指します。また、次世代電気自動車の開発にも注力していきます。

サーキットにおけるリアルタイムデータ連携サービス

同チームは、ネットアップのハイブリッドクラウドソリューションを活用してサーキット走行中のデータにアクセスしてドライバーとチームのサポートを可能にします。例えば、走行中のデータをリアルタイムで把握して、エンジンパワーを30キロワット増加させる「フォーミュラ E アタックモード」を使用する判断の材料にできます。「アタックモード」を使用する際のルールは、レースの直前にFIAが設定するため、走行中のデータをリアルタイムで把握できるようにすることで、レース戦略の展開を支援できます。

同チームはレース、ビジネス、エンジニアリングの中核でデータを活用するために、以下のように環境を整備します。

- データとシステムはサーキットで利用できるように高性能に保持
- レースで収集されたデータは、レース中にクラウドに転送し、分析
- クラウドデータは、ドイツ・ヴァイザッハのポルシェ・モータースポーツ本部にある研究開発チームが処理
- レース終了後はデータをクラウドに転送して、データを永続的に活用したり、バックアップやアーカイブを実行

ネットアップとポルシェが設計したハイブリッド クラウド データソリューションでは、NAS とグローバル ファイルキャッシュ (Global File Cache) を組み合わせて、シームレスかつ迅速にデータのやり取りが可能になります。また、データバージョンの一貫性を保ちながら、クラウドリソースを管理ならびにモニターし、知的財産を保護します。

ネットアップのデータサービス概要

- **Cloud Volumes ONTAP** : 同チームの主要なストレージプラットフォームとして Microsoft Azure 上に展開され、チームの全データを統合するハブとして機能
- **Global File Cache** : ローカルエッジインスタンスを提供し、ヴァイザッハの開発センターとサーキット間で、共通のデータセットに低遅延でアクセスを実現
- **Cloud Manager** : ハイブリッド クラウド ストレージインフラとすべてのデータ管理サービスを一元管理し、すべてのデータソフトウェア、ハードウェアの運用を管理、モニター、自動化
- **Cloud Backup** : クラウドデータのバックアップとアーカイブとして統合

ポルシェ モータースポーツ IT 部門責任者 フリーデマン・クルツ氏のコメント

「フォーミュラ E はポルシェのテクノロジーを披露するショーケースであり、R&D やモータースポーツの伝統を守るための機会でもあります。レースではデータが重要な要素となりますが、レーシングチームが遠征に出ていることが多いので、データ管理は容易ではありません。ネットアップが構築したソリューションは、膨大な量のデータを高速で処理しながら、エッジ、コア、クラウドにわたり直感的に操作できることが特長です。これで私たちは、レーシングカードライバーや世界中の自動車愛好家のために、より優れた、より速い車をデザインすることが可能になります」

米ネットアップ エグゼクティブバイスプレジデント兼 CMO ジェームズ・ホワイトモアのコメント

「すべての主要な自動車レースシリーズで 30,000 回以上優勝しているポルシェと、2,500 件を超えるデータイノベーションの特許を出願しているネットアップの協業は完成されたパートナーシップと言えます。私たちは未来のレースへの軌跡を歩み始めました。デジタルデータは、レースカーに搭載された多くのセンサーによって収集され、その後の展開を予測するために同期処理を行ってチームを支援をします。データこそがスピードです」

※フォーミュラ E : 国際自動車連盟 (FIA) が主催する、化石燃料を使用しない電気自動車のフォーミュラカーレース

関連資料

タグ・ホイヤーポルシェフォーミュラ E チームのサイト (英語) をご覧ください。

- newsroom.porsche.com/formulae
- media.porsche.com/formulae

フォーミュラ E におけるポルシェについて

ポルシェ 99X エレクトリックを擁するポルシェは、2019 年に 30 年以上ぶりにオープンホイールの一人乗りのレースに復帰し、ABB フォーミュラ E シーズン 6 のサウジアラビア・デイルヤでの開幕戦で 2 位を獲得し、華々しいデビューを飾りました。2021/2022 年、タグ・ホイヤー ポルシェ フォーミュラ E チームは、ポルシェ 99X エレクトリックで 3 回目のフォーミュラ E シーズンを戦い、2022 年 2 月 12 日にメキシコで歴史的なワンツーフィニッシュを決めました。ヴァイザッハの開発センターで生まれたポルシェ E パフォーマンスパワートレインを搭載した完全電気自動車レーシングカーは、ポルシェの完全電気自動車生産モデルの開発プラットフォームとしての役割も担っています。エネルギーマネジメントと効率性は、フォーミュラ E と市販車の開発において重要な要素です。2021/2022 年シーズンの 99X Electric の最大出力は、予選モードで 250kW、通常のレースモードで 220kW (昨シーズンは 200kW) です。アタックモードでは 250kW (昨シーズンは 235kW) に出力がアップします。最大回生量は 250kW、使用可能なバッテリー容量は 52 キロワット時です。

ネットアップについて

ネットアップは、データを中心に考えながらグローバルなクラウド戦略で業界をリードする企業です。DX が加速するいま、データを活用してビジネスをリードしようとする企業や組織を支援します。クラウドでの開発、クラウドへの移行、オンプレミスでのクラウドレベルの環境構築など、データセンターからクラウドまでのアプリケーションを最適な状態で実行できるシステム、ソフトウェア、クラウド サービスを提供しています。こうした多彩な環境にわたって機能するソリューションを通じて、企業や組織が独自のデータファブリックを構築し、いつでもどこでも必要なデータ、サービス、アプリケーションを、適切なユーザに安全に提供できるようにしています。詳細は <http://www.netapp.com/ja> をご覧ください。ネットアップ合同会社はネットアップの日本法人です。

NetApp、NetApp のロゴ、<https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。